

科目名	国語表現	必修	授業形態			開講時期	
			講義			1年	
区分	基礎分野						
担当者	野村安希子	資格	高校 教員免許	実務 経験	有・無	時間	25時間
<p>授業の目的・ねらい 文章を正確に読解し、適切に表現する能力を高める。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの基礎となる読解力及び表現力を養い、個別のコミュニケーションが展開できる。 2. 論理的思考に基づいた文章表現ができる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. } 第1章 文章に親しむ 2. } 3. } 4. } 5. } 6. } 第2章 文章を味わう 7. } 8. } 9. } 第3章 文章を楽しむ 10. } 11. } 12. } 天声人語 書き写しノート 13. } 14. } 15. } 16. } 17. } 18. 筆記試験・まとめ <p>天声人語 書き写しノート 朝日新聞の1面に毎日記載されている「天声人語」を切り抜いて貼り、「天声人語書き写しノート」に書き写しタイトルをつける。わからない漢字やことばを辞書で調べ、感想や要約を書くことによって、社会情勢を知り、読解力や要点をまとめる力を身につける。</p>							
<p>教科書</p> <p>看護学生 New プレトレニング 2022 天声人語 書き写しノート</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	情報科学	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			2年	
区分	基礎分野						
担当者	園部理恵子	資格	インストラクター	実務経験	有・無	時間	10時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>情報処理の基本的考え方及び情報処理システムについて理解し、コンピュータの基本的操作を身につける。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを扱う基本的な知識や技術を修得できる。 2. 情報倫理と情報通信、セキュリティについての知識を修得し、判断できる。 3. 安全性を考慮した情報の扱い方がわかる。 4. パワーポイントを作成し、発表できる。 5. 集団の特性を客観的に数値化することができる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. } セキュリティ・個人情報・引用 Windows・PowerPoint説明 2. } 3. } Word 書式の設定・Word 表の作成、印刷、Word 課題、 4. } インターネット検索・資料収集 5. } Excel データ入力、書式の設定、罫線、関数、Excel 課題 6. } 							
<p>教科書</p> <p>テキストなし。資料あり。パソコン画面の操作が中心。筆記用具を準備すること。</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	公共倫理	必修	授業形態			開講時期	
			講義・演習			2年	
区分	基礎分野						
担当者	佐伯弘晃	資格	高校 教員免許	実務 経験	有・無	時間	35時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>医療提供体制の変化や社会のスピードの変化に応じた「よい看護とはなにか」を考えるために、社会的存在としての人間を理解するために人間社会的行為、社会集団、社会構造、社会の変化、個人と集団について理解する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 大きく変わるつつある社会の動きに関心を持つとともに、「社会」のとらえ方について理解できる。 社会学的視点から考察することで、現代の社会と医療との関係及び諸問題について理解できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 地元今治を知る（今治の姿：プロフィール、しまなみ海道） 地元今治を知る（今治の歴史） 地元今治を知る（今治の産業・観光） 民主主義との日本国憲法の基本原理について 基本的人権の保障について 国会・内閣・裁判所について 政治参加と選挙について 働くことの意義と職業選択について 労働者の権利と雇用・労働問題について 日本と世界の現代史（経済危機と第二次世界大戦） 日本と世界の現代史（戦後の国際秩序） 日本と世界の現代史（冷戦と世界経済） SDGs ー17の持続可能な開発目標について 自分一人一人の現在の課題について まとめ 筆記試験 <p>尚、1～14の毎時間・新聞を活用した授業も組み込む</p>							
<p>教科書</p> <p>テキストなし 資料有</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							